

## 第9回意見交換会セミナー（ロービジョンケアについて）参加後アンケート結果

2022.6.21

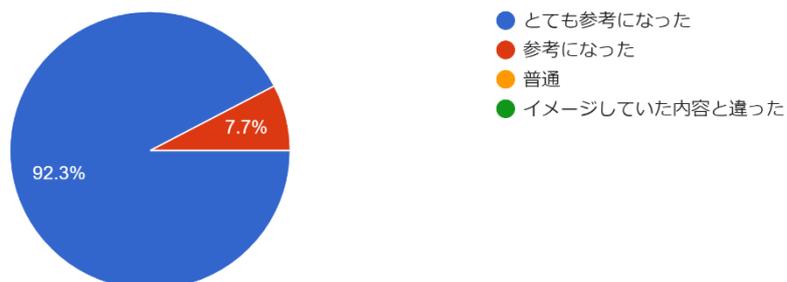
今回セミナーをどのようにしてお知りになりましたか。

13件の回答



今回のテーマについていかがでしたか。

13件の回答



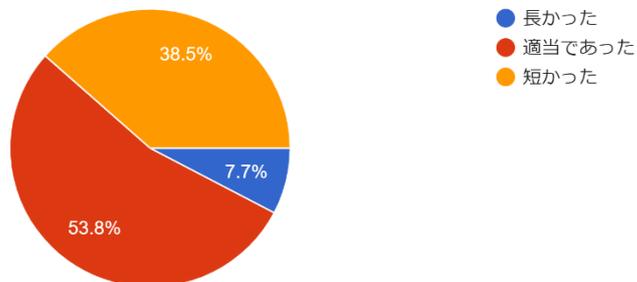
特に参考になった内容は何か。13件の回答

- 中心暗転や視野狭窄など、患者さんの見え方について 普段の業務の中で、患者さんと接する時に意識しながらやっているか考えさせられた
- ロービジョンケアをする際には、患者の見え方が重要であるという点
- 看護師のロービジョンへの関わり方について ロービジョン体験冊子
- 高橋先生とのディスカッション
- 高橋先生のロービジョンケアに携わる経緯についてとても感慨深かったです。医師が必要としている情報を看護師が聞いてくれると助かるということで患者の生活背景など細かくカルテに記載するようにしようと思いました。また、お話を聴いてお節介ナースになろうと思いました。

- 参天製薬さんの見え方の体験できるものがあるそうなので早速取り寄せてみようと思いました。ミルックの操作が何とですがなくわかりました。
- 事例を通してのロービジョンの関わり
- ロービジョンにおける視点 改めて考えさせられた。
- 高橋先生のご講義でロービジョンケアは、組織でやることを待っているのではなく、個人レベルで、一人一人が目の前の患者を何とかしようとするところから始まるというお言葉に感銘を受けました。
- 患者のみえ方を理解した上で関わるのが、大切だと学びました。
- 看護師としてロービジョンケアに取り組む覚悟
- 障害を理解するには見え方を体験することで相互理解に至る。寄り添うことで心を開き相手を理解することが、個別の生活に沿ったロービジョンリハビリテーションを展開できる第一歩。ケースバイケースで個人の生活の質・人生の質の向上を目指す援助へ真摯に向き合っていきたい。
- ロービジョン看護 看護師の意義、役割など

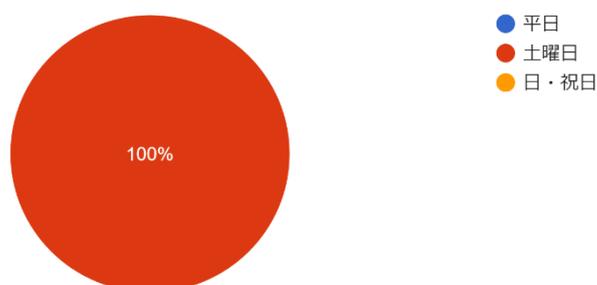
#### 時間についてはいかがでしたか

13件の回答



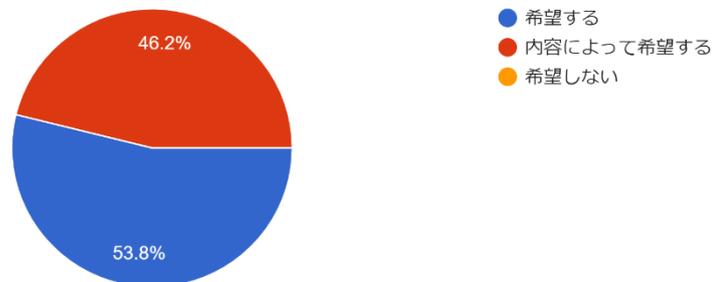
#### 日程についての希望があれば教えてください

13件の回答



今後も意見交換会（セミナー含む）への参加を希望しますか。

13件の回答



今後行って欲しいセミナーや意見交換会のテーマなどがあれば教えてください。例）白内障術後の焦点距離について、腹臥位のケアについて、地域連携を考慮した周術期ケアについてなど。6件の回答

- 自宅での腹臥位の援助、指導などについて オペ室での履き物、服装について
- 術後の腹臥位ケアについて
- 腹臥位について
- ロービジョンケアの事例と言いますと、ロービジョンケアをした事例というようにハードルが高くなってしまいますので、ロービジョン患者の看護を行った事例の検討会に参加したいです。情報収集時に、その方の支援者が見え方をどのように理解しているのか聞き取っているのでしょうか。事例検討で、どのような支援、ケアができるのか、皆様のご経験を知り、高橋先生や大音名誉理事長からご講評をいただきたいです。
- 術後満足度を高める為の白内障レンズ決定(焦点距離)の説明について：イメージシュミレーション
- 今回の続編は是非お願いいたします。

そのほかご意見やご質問などあれば以下にお願いいたします 8件の回答

- 初めて参加させていただきました。眼科の経験が浅いですが、とても勉強になりました

- 看護師のロービジョンケアへの自身の考えが2013年のまま止まっていることに気がついた。今後はフレイルの考えかたを踏まえて、セルフケア不足が生じる前から看護介入できるような仕組みづくりや眼科未経験スタッフの育成に取り組みたい。さっそく、師長を交えて病棟、外来で話し合いの場を設けることができた。ロービジョンケア経験がある看護師もいるため、ぜひロービジョンケアを導入したい。次回もぜひ参加させていただきたいです。
- 高橋先生は、はじめ少し怖い印象でしたが業種に関係なくハッキリとお話ししてくださり、聞いてとても気持ちよかったです。看護師がどのようにロービジョンケアに参加すると医師側も助かるのか（というお話がありました）参考までにもう少し聞きたいなと思いました。
- 感想 本日は大変有意義なお話が聴け、関係者の方々にお礼申し上げます。高橋先生の熱い思いが伝わってきました。最初に録画の話になって、よくあるロービジョンの研修会とは違うぞと、ちょっとワクワクしてしまいました。そしてうんうんと頷きながら話にどんどん引き込まれてしまいました。看護師によってロービジョンマインドのあるもの、ないもの、あってもどうにもできないもの、当院眼科の看護師も様々で看護師の私でも、何で気づかないかなと苛立つ時があります。これは看護師側の教育かなと課題ではあります。しかし医師にロービジョンケアの介入を断られることもあります。つい先日も医師にタートルの紹介を止められてしまいました。医師に止められると意気消沈します。お節介したくてもできません。高橋先生は長い時間と労力を費やして看護師に訴え続けていられるのですね。それに応えられるスキルを身につけたいと思いました。そして医師にもロービジョンマインドが根付いて欲しいと感じます。
- ロービジョンは、大変興味深いテーマですが、現実的に関わり方として、どれが正解なのか分からないですが、患者様に真摯に対応していきたいと思いました。
- 社会資源とその活用について、もっと知りたいと考えていますが、なかなか一歩が出ません。将来的に失明の可能性のある人のまだ見えてるうちからの訓練など、課題の一つです
- ロービジョンリハビリテーションについて窓口を作っても、対象者の方々には第一歩を踏み出すことは勇気がいると思います。気軽に相談していただく為の工夫や働きかけなど、実際に効果的な方法があれば教えていただきたいです。
- いつもお世話になっております。大変勉強になり感謝いたしております。各施設での、看護体制、働き方改革、待遇改善、など細かな看護部の現状を教えてください。また、病院見学など、学会開催など主催側は大変でしょうから、周辺施設の見学なども計画していただければ幸いです。ご検討宜しくお願い致します。